

地域の資源循環促進支援事業



【令和7年度予算（案）99百万円（10百万円）】
【令和6年度補正予算額 205百万円】

地域の循環資源等を活かして地域経済を活性化させる自治体のCE取組の底上げを支援し、全国各地でCEへの移行を促進します。

1. 事業目的

地域の特性を活かした新たな資源循環による地域経済の活性化の流れを生み出すため、意欲はあるもののCEにどう取り組んだらよいか分からない自治体に対して、先進事例に取り組むマイスターによるCEに係る現状評価やポテンシャル等の診断を行い、当該自治体のCEビジョン・モデル作成を支援するとともに、当該自治体で資源循環に取り組もうとする中核人材の育成、モデル実証事業を支援することで、資源循環に取り組もうとする自治体を底上げし、CEへの移行を促進する。さらに、自治体間で情報交換・相互支援を可能とする場を創設することで、各地域で生まれた循環型のビジネスモデルを全国各地に普及させる。

2. 事業内容

① 自治体のCE診断の実施（補正）

- アンケートやヒアリングを通じて、自治体の廃棄物管理、地域資源の活用状況、推進体制、地場産業の構造等について現状の把握を行う。
- CEに関連する取組の状況やポテンシャルについて、先進自治体と比較をしながら強みと課題を明らかにし、地域の特性を基に資源循環の取組の可能性が高い分野や施策を特定し、地域へのメリットも提示する。

② CEの取組を伴走支援するツールの提供（補正）

- 類型毎（例：ウェルビーイング型、地域資源活用型、廃棄物削減型、事業創出型）に資源循環による地域活性化プロセスを整理した方法論をまとめたガイダンスを作成提供する。
- 地域のCE実践において重要な役割を担う、地域内の様々な主体と協力関係を築きながら循環ビジネスを創出するプレイヤーの養成プログラムを提供する。

③ 循環型ビジネスモデルの実証事業の実施（補正・当初）

- 地域の廃棄物の資源化を目的とした循環型ビジネスモデル構築実証事業を実施する。
- 補正は、剪定枝を回収し薪・チップ・RPFにするなどの短期間で実施可能な実証事業、当初は、きしめんの端材、牡蠣の貝殻など未利用資源を活用し、お皿などの新たな製品を生み出すなど、時間を要する実証事業を実施。

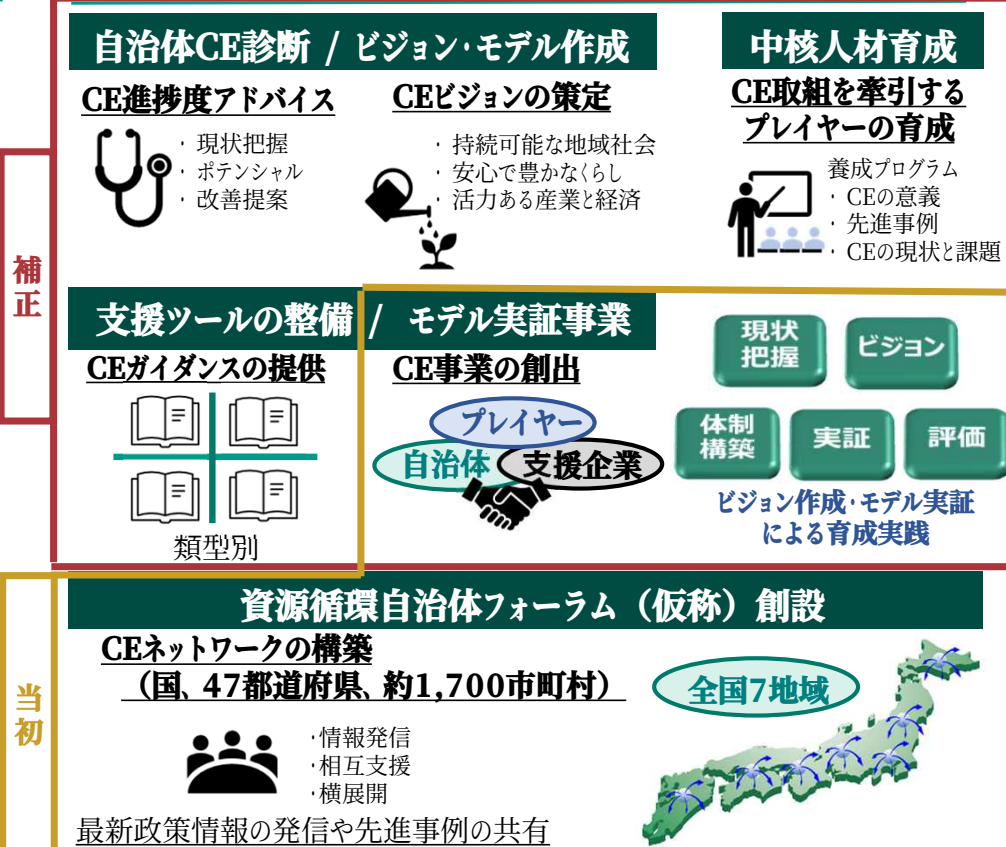
④ 循環型ビジネスモデルを全国各地に普及させるフォーラムの創設（当初）

- CEの取組による最新の成果やアイデア等、地域間で情報交換・議論・相互支援が可能なとなるフォーラムを創設する。

3. 事業スキーム

- | | |
|-------|-------------------------|
| ■事業形態 | 請負事業 |
| ■請負先 | 民間事業者・団体 |
| ■実施期間 | 補正：令和6年度、当初：令和7年度～令和9年度 |

4. 事業イメージ



お問合せ先： 環境省 環境再生・資源循環局 総務課 循環型社会推進室 電話：03-5521-8336